

デューンバー・ダム・フレンズ・リード

安楽死にあたっての条件 Euthanization policy at Denver Dumb Friends League

デューンバーのシェルターでは全ての入って来る動物に対して検査を行い、下記の3つの項目に分類される。

UAD: 1 (Unadoptable) 社会、他の動物に対してや、その動物自身が病気、性格、怪我などの理由で危険な状態にある場合は安楽死する。例外もあるが、たくさんの条件が伴う。

PA: (Potentially Adoptable) 里親募集が可能ではあるが、医療や世話の時間の面で少し手間がかかる。

AD: (Adoptable) 健康状態も性格も良好で、問題なく里親探しが可能である。

安楽死の対象項目(UAD) Cases where euthanization is considered.

アレルギー-severe allergies: アレルギーは体毛が抜け落ちたり、動物の成長過程で問題などを生じる為、里親募集には適さない。中には里親に出せる動物も居るが、一生の間、薬や特別なエサなどを与えなくてはならないという問題がある。

免疫不全 auto immune deficiency: 免疫力の低下などにより寿命も短く、病気などにかかりやすく医療面での負担も大きい。免疫不全の例としてAIDSなどがある。

動物の品種や種類などで **breed (eg Pit bull terriers):** 危険動物などに指定されており、飼育が禁止されている動物など（アメリカでは州により法律が違うので各州で様々）。デューンバーでの例：フェレット、ピットブルテリア、狼との混合種などは飼育が禁止されている。

ガン terminal cancer: ガンは移転などを繰り返し動物にとっても大きな痛みを与える。

ディステンパー (気性の障害) distemper: まれに回復は可能であるが、シェルター内では他の犬に危険がともなう。

形成異常 dysplasia: 形成異常の動物の飼育には多大な医療費及び、養育費がかかります。里親に出される場合は飼い主がその全ての医療費、または養育費を負担出来るかが問われる。例としては股関節形成不全などが有名。

攻撃的性格 severe aggression: 入って来た時点で検査し、人や他の動物に対して噛み付いたり、襲い掛かったりする性格があると判断された場合。

破壊的性格 severe destruction: この症状もまた、前例の有無に関係無く、シェルターに持ち込まれた時点で検査する。

逃亡癖 escapist: 過剰な逃亡癖のある動物。検査はシェルター内での世話や住宅街での動物の安全に重点を置きなされる。検査理由は動物などが逃げ出したりした時に交通事故や他の人に攻撃を加えるなどの危険性がないかなど。

過剰な恐怖症 fearful: 人や他の動物に対して過剰なまでに怯える動物。

トイレで糞尿をしない猫 house-soiling: 猫用のトイレを用意しているにも関わらず、家の中のいたる所で糞尿をする猫。検査は入って来た時点で、トイレで糞尿をするか、ちゃんとトイレの場所を認識しているかなどに重点を置いてなされる。

猫白血病ウィルス感染症 (FeLV +): 猫白血病ウィルス感染症に感染していると診断された動物。

猫伝染性腹膜炎 (FIP +): 猫伝染性腹膜炎に感染していると診断された動物。

猫免疫不全ウィルス感染症 (FIV +): 猫免疫不全ウィルス感染症 (FIV)に感染していると診断された動物。

泌尿器系の病気 feline lower urinary tract condition 泌尿器系の病気と診断された動物。例は腎炎、腎不全、膀胱炎、尿石症など。

半野生動物 feral/wild: 半野生動物は小さい頃に捨てられたり、野良の子で人間や他の動物との面識がなく、なついたり、などの友好的な面が見られず時には攻撃的性格を伴う。成長してしまった動物に関しては性格の改善は望めない。

身体に障害のある動物 severe handicap: 身体に障害があり、通常の生活が出来ない動物。里親に出す事はできるが、飼育環境などに多少の条件が伴う。判断はシェルタ

一の管理者、獣医師、飼育スタッフなどの同意のもとになされる。

心雑音 severe heart murmur: 心雑音が確認された動物。まれに心雑音があるが、障害はないと獣医師により判断された場合のみ里親募集に移される。

犬伝染腸炎 parvo: 犬伝染腸炎は改善されないわけではないが、治療に際して施設内の動物にも伝染する危険性がある。

発作 fit: 中には治療が可能な発作もあるが、一生薬を与え続けなければならない。

健康に問題は有るが、薬などを与え続けていれば問題は無い動物たち(PA)の項目。PA cases.

高齢 old: 高齢過ぎて薬やエサに制限などが伴い辛い一生を送らなければならない動物。7才以上の動物は獣医師の健康診断を受けるようになって

いる。

弱ってしまっている動物 fading: 弱ってしまつて、食欲が衰えて体重が減っていく動物。

甲状腺機能低下症 hypothyroidism: 甲状腺機能不全は薬を与えていれば通常の寿命を生きれるが、飼い主は定期的に薬を与え、動物の状態などに常に注意をしなければならぬ。

怪我を負っている treatable injury: 怪我を負っている動物。通常の命に関わらない怪我であれば里親に出すことが可能、またこれから先、薬を与え続けなくてはならない場合もある。怪我の大きさなどによっては安楽死も考えられる。

人に慣れていない unsocialized: 人に慣れていない動物。しかしトレーニングが可能である。

リングワームが寄生している ring worm: リングワームが寄生している動物。長期には渡るが、薬を与え続けければ治療は可。

生後8週間以下の動物 animals under 8 weeks: 生後8週間以下の動物はシェルターで十分に育ってから里親に出される。

